

坂村真民記念館（砥部町）

一切衆生を 両手に抱け 眞民



松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人: 中村剛志

三猿の教え



「見ざる・聞かざる・言わざる」の三猿で有名な日光東照宮。その前後に、人間の一生を象徴した、合計八場面の猿の彫刻があることをご存じでしょうか。

①手をかざして遠くを見ている母猿（子供の幸せな未来を願う）。②見ざる・聞かざる・言わざる（幼少期は悪いことを見たり、聞いたり、話したりせず、素直なまま育つてほしいという親の思い）。③座っている猿（独り立ち直前の様子）。④上を見上げている青年期の猿（青雲の志を抱く）。⑤下を見下す猿（困難に直面するが、周囲の励ましで乗り越えていく）。

⑥もの思いにふける様子の猿（恋愛の悩みを通して成長する）。⑦仲睦まじい二匹の猿（夫婦で荒波を乗り越えていく）。

⑧お腹の大きい猿（子猿もやがて自分が親となり、やつと親の苦労が分かる）。

これらの彫刻は、人間の生き方を示す手本でもあります。子を思う親の愛情の深さを教えてくれています。職場人として、家庭人として、親の思いに応えることができるよう、今を精一杯生きていきましょう。

● 親の思いを知りましょう

「職場の教養」より

走りきて抱きつく事もなくなりし
孫娘はや乙女となりて
へそ出して少女は街を闊歩せり
大和撫子何處かに消ゆ

保親さんの人生万感



秋田 緑の言の葉カード



総身が若葉となりたる楠を
見上げて過ぎる落葉踏みつつ
いがみ合い罵り合つての場合かと
ウイルスじつと人類を見る

宇和ちゃんの啖呵ハ短歌

○見方が変われば、人生は楽しくなる
普段通る道にも、小さな花が咲いている。
違う角度から、周囲を眺めてみれば、見慣れた風景も輝きだす。

道しるべ